

近畿日本鉄道 鉄軌道路線のご案内



近鉄グループホールディングス株式会社

〒543-8585 大阪市天王寺区上本町6-1-55
TEL. 06-6775-3445
企業情報サイト <https://www.kintetsu-g-hd.co.jp/>

Kintetsu Report

第111期 中間 事業活動のご報告

令和3年4月1日から令和3年9月30日まで

特急ひとりと

ウェスティン都ホテル京都



近鉄グループホールディングス株式会社

証券コード：9041



アフターコロナ社会での新たな事業展開と飛躍に向けて、 「近鉄グループ中期経営計画2024」を着実に実行し、 経営基盤を再構築いたします。



代表取締役会長
グループCEO

小林 哲也



代表取締役社長

小倉 敏秀

» ごあいさつ

平素は、当社グループの事業運営に格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。

このほど、第111期事業年度における第2四半期まで（令和3年4月1日から令和3年9月30日まで）の業績がまとまりましたので、各事業における最近の取組みなどと合わせて、ご報告申しあげます。

当第2四半期累計期間におきましては、各事業にわたり徹底的なコスト削減や事業運営体制の見直しなど事業構造改革を鋭意進め、前期に比べ大きく改善したものの、コロナ禍の長期化により多額の営業損失計上となりました。引き続き、構造改革を一層進めるとともに最大限のコスト圧縮を図る一方で、コロナ禍収束の機会を逃さず収益確保に努めてまいります。

» 今後の事業展開

今後の事業展開といたしましては、「近鉄グループ中期経営計画2024」に掲げた基本方針「コロナ禍から回復し、新たな事業展開と飛躍に向かうための経営改革」のもと、各施策を着実に実行し、各事業の経営基盤の再構築を進めてまいります。

運輸業では、徹底的なコスト削減を進め、効率的な鉄道事業運営体制の構築を目指すとともに、令和4年4月より大阪～奈良～京都を結ぶ観光特急「あをによし」の運行を開始するなど、魅力的な車両により、アフターコロナの観光・お出かけ需要を取り込んでまいります。

不動産業では、沿線主要駅周辺での計画的な再開発により、生活・社会インフラの効率的な提供を目指したまちづくりを推進するとともに、住まいのさまざまなご相談をワンストップでお受けする総合営業拠点「住まいと暮らしのぷらっとHOME」を沿線27カ所で展開し、沿線の魅力向上に努めてまいります。

百貨店業では、あべの・天王寺エリアでの「ハルカスタウン」の魅力最大化や、地域中核店・郊外店のタウンセンター化を進める一方、EC事業をはじめとするデジタル環境を整備し、お客様との多様なつながりと利便性の拡充に努めてまいります。

ホテル業では、本年10月1日より、所有・直営と運営受託の二軸化経営を開始いたしました。130年以上の歴史と伝統に培われた「都ホテル」ブランドを持つ近鉄・都ホテルズと、ホテル事業への豊富な投資実績やホテル経営の知見を持つ外部パートナーとの協業により、将来の経営環境の変化にも柔軟に対応しうるホテル事業体制を構築してまいります。

旅行業では、近畿日本ツーリストにおいて店舗型販売からの脱却を進めており、またクラブツーリズムにおいて、共通の趣味を持つ人たちをつなぐ「新・クラブ1000事業」や「クラブツーリズムパス」など、会員向けのオンラインサービスを強化し、事業改革を進めてまいります。

各事業において中長期的な改革を進める一方、本年11月より近鉄沿線でのお出かけを応援する「さあ はじめよう、」キャンペーンを実施しております。コロナ禍で落ち込んだ消費需要をグループ各社が連携して取り込むことにより、いち早く反転攻勢を図り、各事業会社とグループ全体の収益確保に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和3年12月

近鉄グループ サステナビリティ方針

コロナ禍からの回復に注力する中、
事業の意義をあらためて明確にするべく、
近鉄グループのサステナビリティ方針を
策定しました。

「事業を通じて地域の発展と幸福に
寄与する」ことは当社グループの
変わることのない役割であり、
これからも事業の持続的な成長と
豊かな社会の実現を目指してまいります。

「近鉄グループ統合報告書2021」
を作成しました

近鉄グループが社会に提供する価値やサステナビリティの取組みなどを、皆さまに分かりやすくお伝えする「近鉄グループ統合報告書2021」を作成し、当社ホームページに掲載しています。是非ご覧ください。



https://www.kintetsu-g-hd.co.jp/csr/csr_report.html

近鉄グループの理念・戦略・事業

近鉄グループ中期経営計画 2024

〈基本方針〉

コロナ禍から回復し、新たな事業展開と
飛躍に向かうための経営改革

重点施策

- 地元自治体や外部企業との連携
- 事業ポートフォリオの変革
- DXによる新規事業・サービスの創出
- 地域の課題解決を目指したまちづくり

運輸業

鉄道、バス、タクシー
海運など

不動産業

住まい、オフィスビル
商業施設、ライフケアなど

グループシナジーを発揮した事業・サービスの展開

流通業

百貨店
ストア・飲食など

ホテル・レジャー業

ホテル・旅館、旅行
映画館・水族館など

近鉄グループ サステナビリティ方針

近鉄グループは、
様々な人々との共創を通じて
新たな価値を創出し、
持続的な成長を目指すとともに、
次代につなぐ豊かな社会の実現に
貢献します。

サステナビリティ の重要テーマ

- 価値観の変化を先取りした、くらしの創造
- ネットワークの充実による、元気なまちづくり
- 人と地域を豊かにする観光の提供
- 脱炭素・循環型社会実現への貢献
- 安全の確保と安心の追求
- ガバナンスとリスクマネジメントの強化
- 多様な人財の育成と活躍

〈近鉄グループ経営理念〉

「いつも」を支え、「いつも以上」を創ります。

価値の創出

経済的価値

事業の持続的な成長



社会的価値

「共創による豊かな社会」
実現への貢献



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



価値の循環による資本の充実、持続的な価値創出

近鉄グループ 「さあ はじめよう、」キャンペーン

グループ総力を挙げて近鉄沿線でのお出かけを応援

近鉄グループでは、2021年11月6日から2022年3月31日まで「さあ はじめよう、」キャンペーンを実施しています。グループ各社が新型コロナウイルス対策を徹底し、安全・安心な食や旅、今しかできない特別な体験プランをご提案します。70以上のプランをご用意しており、今後もさらに充実させます。近鉄グループでは、このキャンペーンを通じて地域社会の活性化に寄与してまいります。



▲ OSAKA SKY VISTA



▲ 観光特急 しまかぜ



▲ 海遊館

交通広告やHP、SNSなど
様々な媒体を活用し、
お客さまにキャンペーンを
訴求しています。



▲ 大阪阿部野橋駅 デジタルサイネージ



▲ 車内中張りポスター

〈プラン例①〉

暮らすように旅を楽しむ 自由自在な3日間～最大14日間

3日から14日間のうちで日数を選び、うち2泊は都ホテルズ&リゾーツなどのホテル・旅館にお泊りいただくプランです。期間中は近鉄電車が乗り放題のフリーきっぷがご利用いただけるほか、志摩スペイン村・あべのハルカス展望台・海遊館・2階建てオープンデッキバスOSAKA SKY VISTA等の近鉄グループ施設のうち3つを選んでご利用いただけます。お一人様3日間2万3千円～の特別価格でご提供します。

〈プラン例②〉

美し国でおふたりだけの晚餐を

「志摩観光ホテル ザ ベイスイート」ロイヤルスイートルームに2泊3日でゆっくりご滞在いただくお二人様100万円の贅沢プランです。レストランでは三重の自然の恵みを贅沢に使った特別ディナーをご賞味いただき、お客さまのご要望に応じてコンシェルジュが滞在中の過ごし方をご提案します。他には「ウェスティン都ホテル京都 数寄屋風別館 佳水園宿泊と茶道体験 和心旅プラン」などもご用意しています。



▲ 志摩スペイン村



▲ 志摩観光ホテル ザ ベイスイート

近鉄電車 定期券でおトク!	対象施設		特典内容
	12月	近鉄百貨店（沿線外を除く主要店舗）	
	1月（4日～）	近鉄・都ホテルズ（大阪・京都・四日市のホテル）	
	2月	ハルカス300（展望台）	
	3月	志摩スペイン村パルケエスパニーヤ	

近鉄電車の定期券をお持ちのお客さまに月替わりで近鉄グループの対象施設で割引等のサービスをご提供します。



▲ 公式キャンペーンサイト



▲ SNS広告

デジタルサイネージや車内中張りポスターなどの媒体にはQRコードを表示し、公式キャンペーンサイトをご案内しています。

※QRコードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。

詳しくはこちら



TOPICS 01 2022年4月に観光特急「あをによし」がデビュー

近畿日本鉄道では、大阪難波駅～近鉄奈良駅～京都駅を乗り換えなしの直通で結ぶ、新しい観光特急「あをによし」(4両1編成)の運行を来年4月29日から開始します。列車に乗ること自体を目的としてご旅行や、コロナ禍後のインバウンドのニーズなどを見据え、既存の特急車両を高級感のある内外装へ大幅にリニューアル。座席数は従来の約3分の1に抑えた84席とし、ゆったりとした移動空間をご提供します。外装には、天平時代の高貴な色とされる紫色のメタリック塗装を施し、天平文様をあしらっています。



◀ 観光特急「あをによし」の外観イメージ

座席はゆったりとおくつろぎいただけるよう、2列の座席配置とします。内装にも、正倉院の宝物をモチーフとした天平文様などのデザインを多用し、乗った瞬間から古都・奈良の歴史や文化を感じられるリラックスできる環境を整えます。大阪～奈良～京都の三都を巡る、上質な旅のワンシーンを彩る観光特急を目指します。

朝夕2便は大阪難波駅～近鉄奈良駅～京都駅間を乗り換えなしで結ぶほか、昼間に京都駅～近鉄奈良駅間を4便、1日に計6便を運行(週6日運行)予定。



▲ 2名用のツインシート(イメージ)



▲ 3～4名用のサロンシート(イメージ)



▲ 販売カウンター(イメージ)。専属のアテンダントが乗車し、軽食などの販売を行います。

TOPICS 02 「クラブツーリズムPASS」を提供開始

クラブツーリズムはオンライン上を中心に、鉄道や写真などさまざまな趣味嗜好のコミュニティを構築し、共通のテーマで集える場をご提供する「新・クラブ1000事業」を推進しています。その一環として、KDDI株式会社と業務提携し、サブスクリプションサービス「クラブツーリズムパス」(月額利用料:550円)を10月から提供開始しました。趣味を深掘りできるオンライン講座、オンライントークイベント、雑誌読み放題などさまざまな会員限定のコンテンツを用意しました。今後、さらに魅力的なコンテンツの開発に取り組んでまいります。

クラブツーリズムPASSの楽しみ方



TOPICS 03 ブラックストーンとの合併事業を開始

近鉄グループとブラックストーンは、都ホテル京都八条やホテル近鉄ユニバーサル・シティなど国内8ホテルの合併事業を10月から開始しました。ブラックストーンと近鉄グループホールディングスが出資する特定目的会社が8ホテルを取得し、近鉄・都ホテルズがその運営を受託します。近鉄グループでは、これを機に所有・経営・運営を継続するホテルと、ホテル資産を保有せず運営に特化する運営受託ホテルに再編して二軸化経営を進めることで、将来の経営環境の変化にも柔軟に対応できるホテル事業体制を構築します。

04 「西信貴ケーブルカー」の外装をリニューアル

近

畿日本鉄道では、2022年の寅年を迎えるにあたり、西信貴ケーブル（信貴山口駅～高安山駅間）の車体補修工事を行い、「レトロ」をテーマに昭和時代の車体カラーに復刻塗装しました。また、信貴山とゆかりの深い「寅」をヘッドマークと側面にラッピング。レトロで親しみのある外装にリニューアルしました。

聖徳太子が物部守屋討伐のため信貴山で祈願し、毘沙門天から必勝の秘法を授かったのが、寅年、寅日、寅の刻であったとの言い伝えから、寅年の1月は例年の2～3倍のお客さまでにぎわいます。



▲リニューアルした、2台（赤色、青色）のケーブルカー

05 カーボンニュートラルの実現に向けて電気バスを導入

近

鉄バスでは、大阪上本町駅～JR桃谷駅間と、八戸ノ里駅～東大阪医療センター間の2路線で、来春、電気バスを導入します。この2路線での運行により、10年間で約428トンのCO₂削減効果を見込んでいます。2050年のカーボンニュートラル実現に向けて、SDGsが目指す持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



▲電気バス

環境性能に配慮した住まいを提案

近鉄不動産が分譲する「ローレルコート桃山台ザ・レジデンス」は、断熱性能の向上や高効率設備システム導入によりマンション全体のエネルギー消費量削減を目指す「ZEH-M Oriented（ゼッチ・マンション・オリエンテッド）」認定を北摂エリアで初めて取得しました。



06 関西圏初「北海道どさんこプラザ」をオープン

あ

べのハルカス近鉄本店では、関西圏初出店となる北海道公式アンテナショップ「北海道どさんこプラザ」を9月、オープンしました。北海道の海産物や乳製品、菓子など約700品目を販売するほか、観光情報の発信、イベントスペースを活用した催事なども展開します。



▲あべのハルカス近鉄本店2階にオープン

07 デジタルを活用して、お客さまの利便性を向上「近商ストアアプリ」をリニューアル

「近

商ストア アプリ」を7月、リニューアルしました。アプリでは、チラシ情報などのお得な情報のほか、商品のご購入で特別ポイントがもらえるクーポンを定期的に配信しています。お客さまへ旬な情報をお届けし、リアル店舗へのご来店数、お買上の増加などを図ります。

近鉄百貨店各店にオープン

大阪・関西万博公式ライセンスグッズショップ

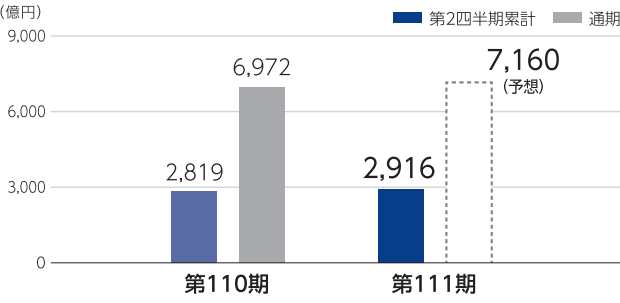
大阪・関西万博の公式ロゴマークライセンス契約を締結し、9月から本店および近鉄ネットショップでグッズ販売をスタート。10月からは奈良店などでも販売を開始し、大阪・関西万博を盛り上げてまいります（販売は期間限定）。



▲「近商ストア アプリ」スマホ画面

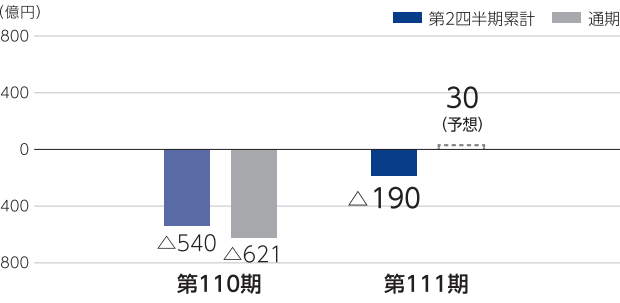
営業収益

新型コロナウイルス感染症が依然として収束せず厳しい事業環境が続きましたが、前年同期の緊急事態宣言に伴う外出の自粛や店舗休業等の反動増で、流通業を除く各事業において増収となりました。



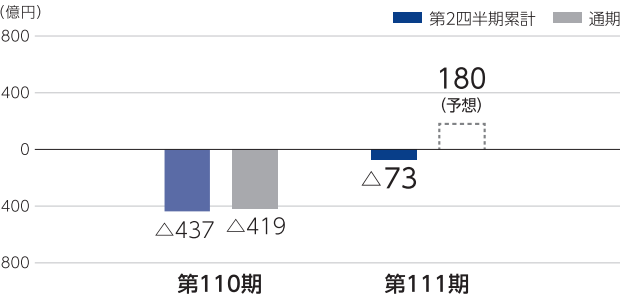
営業損益

前年比増収となったものの、各部門にて新型コロナウイルス感染症拡大による影響が依然として続いており損失計上となりました。



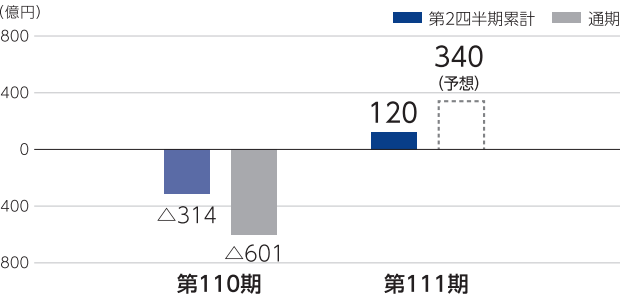
経常損益

持分法による投資利益が増加したものの、営業損失が大きいく損失計上となりました。



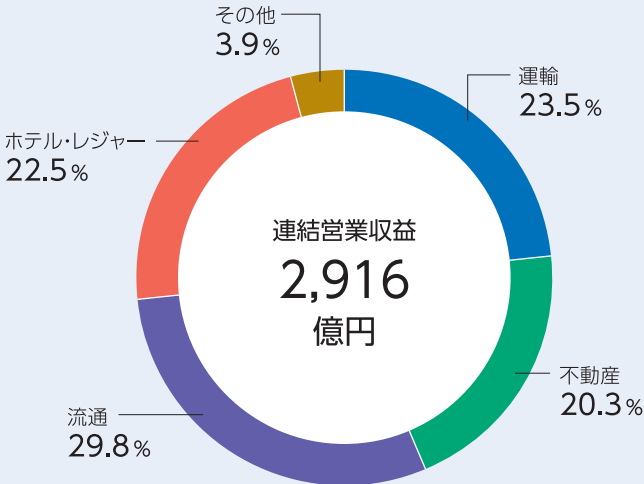
純損益

株式取得に伴う負ののれん発生益を計上したこと等により増益となりました。



※記載金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

事業別の概況 〈セグメント別構成比〉



運輸 52社
(うち、連結子会社 23社)

鉄軌道部門で、前年同期の緊急事態宣言期間中の出控えの反動もあり増収となりましたが、4月と8月の緊急事態宣言発出の影響により定期、定期外とも需要回復が遅れたため、損失計上となりました。

〈営業収益・営業損益〉

期	営業収益	営業損失
第110期 第2四半期	675	△197
第111期 第2四半期	725	△54

不動産 15社
(うち、連結子会社 5社)

不動産販売部門で、前年同期は緊急事態宣言下で営業活動が制限されていましたが、今期はマンション分譲戸数や仲介手数料収入が増加したこと等により、増収増益となりました。

〈営業収益・営業損益〉

期	営業収益	営業利益
第110期 第2四半期	568	62
第111期 第2四半期	625	73

流通 13社
(うち、連結子会社 10社)

緊急事態宣言の発出の影響による臨時休業等の範囲が前年同期より縮小したこと等により「収益認識に関する会計基準」等適用前の売上高は増加しましたが、損失計上となりました。

〈営業収益・営業損益〉

期	営業収益	営業損失
第110期 第2四半期	1,445	△41
第111期 第2四半期	918	△19

ホテル・レジャー 45社
(うち、連結子会社 37社)

ホテル部門で、緊急事態宣言期間中の営業休止施設が今期は一部にとどまったほか、旅行部門で、旅行業以外の業務受託に注力したこと等により増収となりましたが、損失計上となりました。

〈営業収益・営業損益〉

期	営業収益	営業損失
第110期 第2四半期	254	△361
第111期 第2四半期	695	△178

※各事業の営業収益の金額には、セグメント間の内部売上高等が含まれております。 ※各事業の会社数には

非連結子会社および関連会社を含んでおりますが、営業収益には非連結子会社および関連会社を含んでおりません。 ※記載金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

会社概要

(令和3年9月30日現在)

設	立	昭和19年6月	(前身の奈良軌道株式会社は明治43年9月)
資	本	金	126,476百万円

役員

(令和3年9月30日現在)

代表取締役会長	グループCEO	小 林	哲 也
代表取締役社長		小 倉	敏 秀
代表取締役副社長		安 本	幸 泰
取 締 役	専務執行役員	白 川	正 彰
	専務執行役員	村 井	弘 幸
	専務執行役員	若 井	敬
取 締 役	常務執行役員	原	史 郎
	常務執行役員	林	信
取 締 役	(社外取締役)	岡 本	囃 衛
	(社外取締役)	村 田	隆 一
	(社外取締役)	柳	正 憲
	(社外取締役)	片 山	登 志 子
監 査 役 (常 勤)		田 淵	裕 久
		埴 田	均
監 査 役	(社外監査役)	前 田	雅 弘
	(社外監査役)	鈴 木	一 水
	(社外監査役)	井 上	美 智 子

株式の状況

(令和3年9月30日現在)

1. 発行可能株式総数	500,000,000 株
2. 発行済株式の総数	190,662,061 株
3. 株主数	209,538 名

株式事務のご案内

事 業 年 度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中
基 準 日	定時株主総会の議決権 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 なお、中間配当を行う場合は、毎年9月30日を基準日といたします。
株主名簿管理人／ 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL. 0120-094-777 (通話料無料) ※「郵送物の発送と返戻」、「支払期間経過後の配当金」および「特別口座」につきましては、上記連絡先にお問い合わせください。 特別口座に関する書類類につきましては、下記の方法でもご請求いただけます。 ● インターネットによるダウンロード https://www.tr.mufig.jp/daikou/
公 告 方 法	電子公告 https://www.kintetsu-g-hd.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株主優待のご案内

毎年3月31日、9月30日を基準日として、株主の皆様に対し、ご所有の株式数に応じて次のとおり優待を行っております。

乗車券、乗車証

下表の基準により発行いたします。

ご所有株式数	近畿日本鉄道線 沿線招待乗車券	株主優待 乗車券	株主優待乗車証
	近鉄電車全線 (葛城山ロープウェイを除く。) に1枚1人片道通用		持参人は誰でも利用でき、近鉄電車全線(葛城山ロープウェイを除く。)および近鉄バス全線(一部路線を除く。)に通用
100株以上 1,000株未満	4枚	—	—
1,000株以上 2,000株未満	4枚	4枚	—
2,000株以上 3,000株未満	4枚	8枚	—
3,000株以上 4,000株未満	4枚	12枚	—
4,000株以上 5,100株未満	4枚	16枚	—
5,100株以上 15,000株未満	4枚	—	1枚
15,000株以上 30,000株未満	4枚	—	2枚
30,000株以上 50,000株未満	4枚	—	3枚
50,000株以上 100,000株未満	4枚	—	4枚
100,000株以上 1,000,000株未満	4枚	—	5枚
1,000,000株以上	4枚	—	10枚

※特急列車をご利用の場合は、別に特急券をお買い求めください。

株主様ご優待券

100株以上ご所有の株主様に対し、近鉄グループ施設などのご優待券を一律1冊交付いたします。

発送時期と有効期間

	3月31日現在の株主様		9月30日現在の株主様	
	発送時期	有効期間	発送時期	有効期間
近畿日本鉄道線沿線招待乗車券 株 主 様 ご 優 待 券	6月下旬	到着後 12月31日まで	12月上旬	到着後 7月31日まで
株 主 優 待 乗 車 券	5月20日頃	到着後 11月30日まで	11月20日頃	到着後 5月31日まで
株 主 優 待 乗 車 証	5月20日頃	6月1日から 11月30日まで	11月20日頃	12月1日から 5月31日まで

※株主様ご優待券の有効期間は、ご優待によって上記と異なる場合がございます。

特別口座に当社株式をご所有の株主様へ

平成21年1月に実施された株券電子化に伴い、それまでに証券会社等に預託されなかった株式は、当社が三菱UFJ信託銀行株式会社に開設した「特別口座」において管理しております。**「特別口座」では、証券市場において株式を売買できないなどの制約があります**ので、次のお手続きをお勧めいたします。

①証券会社等の口座への振替

「特別口座」にご所有の株式を証券会社等に開設された口座に振り替えるお手続きです。なお、証券会社等に口座をお持ちでない場合は、あらかじめ証券会社等に口座を開設していただく必要があります。

②単元未満株式の買取請求

「特別口座」にご所有の単元未満株式を、市場価格にて当社に売却(買取請求)するお手続きです。

単元未満株式の買増請求・買取請求のご案内

■単元未満株式の買増し

株主様がご持ちの単元未満株式と併せて1単元(100株)となる数の株式を、当社が市場価格にて株主様に売却(株主様にとっては買増し)いたします。



■単元未満株式の買取り

株主様がご持ちの単元未満株式を、当社が市場価格にて買取りいたします。



〈お問い合わせ先〉

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL. 0120-094-777 (通話料無料)

※特別口座に当社株式をご所有の株主様のマイナナンバーのお届けにつきましても、上記のお問い合わせ先にご連絡ください。
※証券会社等の口座に単元未満株式をご所有の株主様は、お取引口座のある証券会社等へお申し出ください。